

# 議長に吉川毅一議員 副議長に舟橋貴之議員を選出



副議長  
舟橋貴之議員



議長  
吉川毅一議員

2月15日町議会臨時会が開かれ、町議会議長に吉川毅一議員、副議長に舟橋貴之議員がそれぞれ選出されました。

## ご挨拶

この度、2月町議会臨時会におきまして、不肖私が伝統ある立山町議会の議長に就くことになりました。

私にとりましては、誠に光栄であると共に、その責任の重さを痛感する次第でございます。議員各位のご指導、ご鞭撻をいただき、町当局と共に本町の発展と心豊かで幸せな町づくりに全力を傾注してまいります。

今日のわが国は、少子高齢化社会の到来として依然として厳しい経済や雇用情勢の中、様々な分野において大きな転換期を迎えております。地方分権と三位一体の改革が進められる中、わが立山町も簡素で効率的な行政を目指さなければならぬと考える次第であります。

今後、「環境・観光・健康・教育」を柱に、「元気で幸せな町づくりのため、町民と共に更に前進していくかなければならない」と考えております。どうか、町当局、議会そして関係の皆様方、より一層のご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

立山町議会議長 吉川毅一

# 行財政改革 待ったなし!!!

## 議会も率先して定数削減へ

### 現行18名を14名に (次回選挙より)

町議会では次回の通常選挙から、現行18名の議員定数を4名減じ、14名にて執行することにした。

これは、単独町政の維持及び三位一体の改革等による厳しい財政状況を考慮し、議員みずからが率先して定数の削減に取り組まなければならないとの意識のもと、議会改革特別委員会(土肥洋之委員長)において検討してきたものである。

3月3日と9日に委員会を開催し、意見を聞いたところ、3、4減の案が多く出され、各議員の考えを出し合った結果、「4減」の結論に至った。

議会最終日の3月16日、議員提出議案として提案され採決の結果、賛成全員により決定をした。



土肥委員長



土肥委員長

| 他の自治体との比較 | 人口(H17.3.1) | 定数(次回) |
|-----------|-------------|--------|
| 立山町       | 28,172人     | 14人    |
| 上市町       | 23,004人     | 16人    |
| 入善町       | 27,781人     | 14人    |
| 滑川市       | 34,022人     | 16人    |
| 小矢部市      | 34,043人     | 17人    |



土肥委員長は、「いろいろな議論を積み重ねた。4減との結論を受け、議員各位の改革に対する熱意が伝わってきた」と話している。

## 環境施策の合言葉に！ 「もったいない係」新設へ



町は4月から、町民の窓口となる「住民環境課」に「環境ISO推進もったいない係」(通称「もったいない係」)を新設した。

「もったいない係」は新年度、課などの統廃合を中心とした機構改革の一環として、大辻町長がかねてから主張してきた「もったいない」の考え方を具現化するもの。町独自の家庭版、学校版、企業版ISOの普及にとどまらず、大量消費型から循環型社会への転換を目指し、町民に意識付けしていく実践部隊となる。

ノーベル平和賞を受けたケニアの女性環境活動家、ワングリ・マタイさんが来日時、小泉首相に「日本に来て『もったいない』という言葉や学んだ」と話したことが話題になった。首相も賛同し、「リデュース(減らす)」「リユース(再利用)」「リサイクル(再資源化)」の「3R」を世界に広げたいとの考えを示した。昨年環境大臣表彰を受けた。実とにも環境先進自治体となった町では「3R」に「リデュース(断る)」を加えた「4R」の意識の下、世界に誇れる環境の町づくりを目指す。個性ある自治体づくりが求められる時代でもある。一方で奇をてらった施策が名ばかりに終わり、結果的に住民に浸透しなかったケースもある。分かりやすく親しみやすい行政の姿勢を住民に示す上でも部署の名称は大切であり、名に恥じない実りあるユニークな施策を期待したい。

## 福田議員、高嶋議員に 自治功労者表彰

平成17年2月9日に開催された全国町村議会議長会第56回定期総会において、福田吉彌議員と高嶋清光議員に議員15年以上在職の自治功労者表彰が贈られ、3月3日に開かれた富山県町村議連会総会において伝達が行われた。議会としてお祝い申し上げますと共に、両議員の益々のご活躍を期待します。



福田吉彌議員



高嶋清光議員

